

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ながれぼし		
○保護者評価実施期間	R7年 4月 1日		～ R8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数) 22人
○従業者評価実施期間	R7年 4月 1日		～ R8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 4月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人一人に対する個別支援計画に基づく支援の充実。	ケーススタディ等を行ったり、普段から利用者の状態において職員間で共有を図っている。	外部研修なども検討していく。
2	地域の児童との交流	毎日近隣の公園に行く予定を立てており、その中で近隣の児童を含めた集団活動を行うよう環境を整えている。	今後は地域のお祭りや行事ごとへの参入なども検討していく。
3	保護者への情報共有	日々の記録に関して、文章だけではなく利用者の写真等を使用することで事業所と保護者の透明化を図っている。	コロナ過で開催出来ていなかったが父母の会を開催を検討。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職が少ない。	求人でも専門職の応募がほとんどない。	求人媒体を変更し応募数を増やす。
2	自立支援協議会など外部とのコネクが少ない。	児童発達支援センターや相談支援センターとのつながりが少ない	事業所連絡会へは出席しているがその中で横のつながりを増やし様々な事業所とつながることを目指す。
3	地域の方たちとのつながりが少ない。	自治会の活動など出席ができていない。	自治会や近隣のイベントや活動などに積極的に参加する。